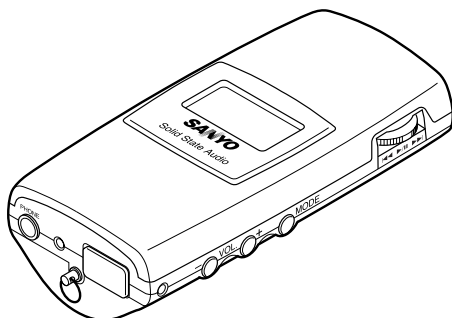


ポータブルデジタルメモリプレーヤー 品番 **SSP-PD9** 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は“いつでも見られる所”に大切に保管してください。



お客さまメモ

お買い上げの際にご記入ください。
お問い合わせの時などに便利です。

品 番	SSP-PD9
お買い上げ日	年 月 日
お買い上げの 販売店名	電話 () —

もくじ

はじめに

安全上のご注意	3
デジタルメモリプレーヤーでできること	7
デジタルメモリプレーヤーとは?	7
著作権の保護について	8
音楽データの転送について(Liquid Player) ...	8
マルチメディアカードについて	9
EMD(インターネット音楽配信)サービスについて	9
本機的主要な特長	10

準備

各部のなまえ	11
お使いになる前に	12
必要なシステム構成	12
この取扱説明書について	13
オンラインヘルプの使いかた	13
準備その1 付属品の確認	14
準備その2 ソフトウェアのインストール	15
準備その3 充電式電池の充電	23

基本操作

マルチメディアカードに音楽を入れる	26
CD-Rに音楽データを入れる	35
デジタルメモリプレーヤーで音楽を聞く	37
その他の操作	38

応用操作(本体)

いろいろな再生のしかた	39
モード一覧	39
繰り返し聞く(REPT/リピート)	40
音質を変える(BASS/バスブースト)	40
音楽にあった音を選ぶ(P-EQ/プリセットイコライザー)	41
音のひろがりを選ぶ(SURR/3Dサラウンド)	41
表示パネルの表示を切り替える(DISPLAY/ディスプレイ)	41
ピープ音の切り替え(BEEP/ピープ)	42
誤動作を防ぐ(ホールド機能)	42

応用操作(ソフトウェア)

Liquid Playerウィンドウの各部のなまえ ...	43
Windowsのエクスプローラでの表示について ..	46
マルチメディアカードの空き容量表示について ..	46
マルチメディアカードのフォーマット(初期化)について	47
ソフトウェアをアンインストール(削除)する	47
Windows Media™ Player 7との組み合わせ	48
Windows Media™ Player 7のWMA形式 の音楽ファイルを聞くには	48

その他

取扱いと保管について	50
ご注意	50
お手入れ	51
よくある質問	52
こんなときは	52
用語解説	55
著作権保護による制限事項	56
主な仕様	57
保証書とアフターサービス	58
保証書について	58
アフターサービスについて	58
お客さまご相談窓口	59
無料修理規定	62
索引	63

ご注意

- 付属のソフトウェアは、この取扱説明書の画面と一部違うところがある場合があります。
- この取扱説明書は、お客様がWindowsの基本操作に習熟していることを前提にしています。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

安全のため必ずお守りください。

■ 絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例

△ の記号は「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。

⊘ の記号は「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。

本体について



警告

■ 分解・改造しない



分解禁止

本機を分解、改造しないでください。

火災、感電の原因となります。内部の点検および修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。



■ 運転中は使用しない



禁止

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。

また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。



■ 内部に水や異物を入れない、また風呂やシャワー室で使用しない



水場禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、乾電池を抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。



■ 指定(別売)以外のACアダプターを使わない



禁止



■ 大音量で長時間続けて聞きすぎない



禁止

ヘッドホンで聞くとときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。

また、突然大きな音がでて耳を痛めることがありますのでボリュームは徐々に上げるようご注意ください。



乾電池について

⚠ 注意

■ 乾電池は正しく入れる



注意

乾電池を入れるときはプラスとマイナスの向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。

■ 乾電池は充電しない



禁止

乾電池は充電しないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。

■ ショートさせない



禁止

ネックレスなどの金属物といっしょにしないでください。乾電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になります。

■ 長時間入れたままにしない



禁止

長時間(1週間程度)使用しないときは乾電池を取り出しておいてください。
乾電池からの液漏れにより、火災、けが、周囲を汚損する原因となります。

充電電池について

この製品はニッケル水素充電式電池を使用しています。
発熱、発火、破裂などを避けるために、必ず下記の注意事項をお守りください。



警告

■ 本体以外で充電しない



禁止

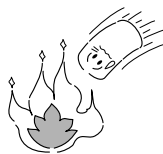
液漏れや破損の原因になります。充電するときは必ず本体で充電してください。

■ 火のそばや中に入れない、また炎天下に放置しない



破裂注意

充電電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になります。



■ ショートさせない



禁止

ネックレスなどの金属物といっしょにしないでください。充電電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になります。

■ 長時間入れたままにしない



禁止

長時間(1週間程度)使用しないときは充電電池を取り出しておいてください。
充電電池からの液漏れにより、火災、けが、周囲を汚損する原因となります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

付属のソフトウェアについて

- ☐ 付属のソフトウェアLiquid Playerは、Liquid Audio社の所有物です。
- ☐ Liquid Playerに関しては、Liquid Playerインストール時の「エンドユーザ・ライセンス契約」に従ってください。
- ☐ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されています。
- ☐ 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いません。
- ☐ 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。
- ☐ 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- ☐ 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。

- Liquid AudioおよびLiquid Playerは米国Liquid Audio社の登録商標です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Microsoft、Windows Media™およびWindows® ロゴは米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。
Copyright© 1999 Microsoft Corporation. All Rights Reserved.
Portion Copyright© 1999 Microsoft Corporation
- MMXおよびPentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Windows Media™ Player 7はMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では、™、® マークは明記していません。



デジタルメモリプレーヤーでできること

デジタルメモリプレーヤーとは？

パソコンと接続してマルチメディアカード(MultiMediaCard)に記録したデジタル音楽データを、手軽に持ち運んで聞くことができる、ポータブル機器です。

付属の専用ソフトウェア「Liquid Player」を使用して、パソコンのハードディスクに保存した音楽データをデジタルメモリプレーヤーに転送し、マルチメディアカードに記録し、聞くことができます。

Liquid Audio社の*著作権保護技術「SP3(Secure Portable Player Platform)」により、著作権者の意思に沿った音楽データの記録・再生が可能です。

※ SDMI(Secure Digital Music Initiative)の規格に準拠しています。

Microsoft社のWindows Media™ player 7を使って音楽データの記録・再生が可能です。

デジタル音楽データをパソコンのハードディスクに取り込むには、以下のような方法があります。

- インターネットなどを利用した音楽配信サービス(EMD=Electronic Music Distribution)で音楽をダウンロード。

本機で使用できるのは、Liquid Audio方式と*WMAの音楽配信データのみです。

- パソコンのCD-ROMドライブからハードディスクに音楽CDをインポート(取り込み)。

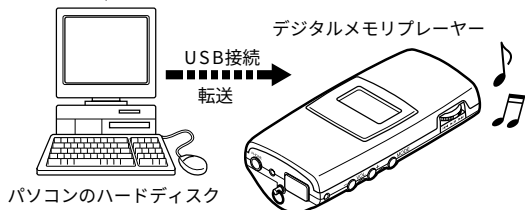
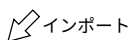
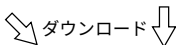
1. Liquid PlayerでAAC方式に圧縮したファイル
2. Windows Media™ Player 7で*WMA方式に圧縮したファイル

※ WMA(著作権管理情報が入っている音楽ファイル)

EMDサービス
(音楽配信サービス)

MP3の
音楽ファイル

音楽CD



- ・ MP3ファイルはLiquid Playerにてデジタルメモリプレーヤーへ転送してください。

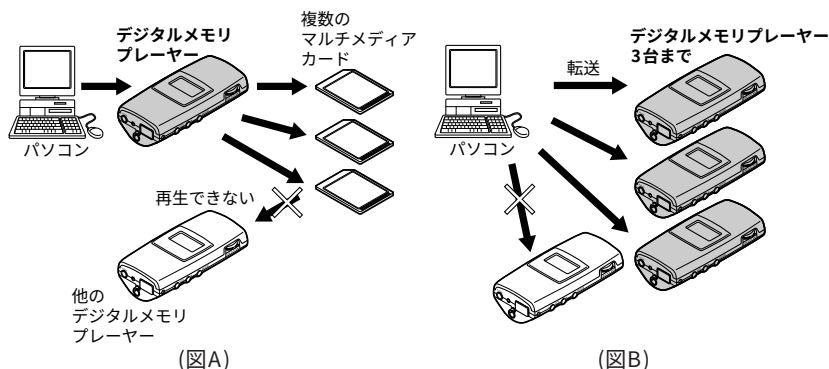
著作権の保護について

著作権を保護するために、本機でのインポートや再生にはいくつかの制限事項があります。くわしくは、「著作権保護による制限事項」(56ページ)をご覧ください。

音楽データの転送について(Liquid Player)

パソコンからデジタルメモリプレーヤーへ音楽の転送について

本機で音楽を再生するために、付属のソフトウェアLiquid Playerを使用して、パソコンのハードディスクからデジタルメモリプレーヤーへ音楽データを転送します。



- 従来のオーディオ装置と同様に何回でも複数のマルチメディアカードへデータのコピーが可能ですが、データをコピーしたデジタルメモリプレーヤー以外での再生はできません。(図A)
- CDから取り込んだ(インポート)音楽データの転送機器制限は3台までです。
(音楽配信されたデータは、音楽データごとに転送台数が決まっています。)
デジタルメモリプレーヤーに3台まで転送した曲は、それ以上他のデジタルメモリプレーヤーへ転送することはできません。(図B)
- デジタルメモリプレーヤーからパソコンに音楽データを送り返すことはできません。

各音楽データの持つ制限事項について

インターネットなどによる音楽配信サービスの普及により、高品質なデジタル音楽コンテンツが手軽に入手できるようになる一方で、不正な配布による著作権の侵害を防ぐため、音楽データ自体に記録や再生方法に制限が付加された状態で配信されるものがあります。本機は、著作権者の意図に沿った記録や再生ができるように著作権保護技術を搭載しています。

マルチメディアカードについて

マルチメディアカードとは？

小型軽量で容量が大きい新世代のIC記録メディアです。マルチメディアカード対応機器間でデータをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの1つとしてデータの保存にもお使いいただけます。

マルチメディアカード使用上のご注意

以下の場合、データが破壊されることがあります。

- 読み込み中や書き込み中にマルチメディアカードかUSBケーブルを抜いた場合。
- 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合。

本機器に転送された音楽データは、他のデジタルメモリプレーヤーでは再生できません。

EMD(インターネット音楽配信)サービスについて

インターネットからのLiquid Player対応EMDサービスをご利用になるには、以下の環境および手続きが必要です。

- インターネットへの接続環境。(各サービスプロバイダーとの契約が別途必要です。)
- 簡易パスポートまたは標準パスポート登録が必要です。(Liquid Audioの方式で音楽配信が受けられます。)登録方法は18ページをご覧ください。
- 各音楽配信サービスの実施主体者へのお申し込み。
くわしくは、ご利用になる音楽配信サービス事業者にお問い合わせください。

本機的主要な特長

- 1 持ち運びに便利な小型軽量サイズ。
- 2 半導体メモリーに音楽データを記録する方式なのでディスクを回転させ、光ピックアップで読み取るCDやMDなどと異なり駆動機構を搭載する必要がないため、揺れや振動の影響を受けず音飛びゼロ。
- 3 アルカリ乾電池で約7.5時間の連続再生。
- 4 付属のマルチメディアカード(64MB)1枚で、約60～120分(記録する音楽データのビットレートにより異なります。31ページを参照してください。)の音楽の記録・再生が可能。
- 5 さまざまな圧縮方式(AAC、MP3、WMA等)で配信される音楽データをダウンロード再生可能。また将来※、音声圧縮技術がさらに進歩した場合やコンテンツプロバイダーがそれぞれ異なる圧縮方式を採用した場合でも、使い続けることが可能なマルチデコードシステムを採用。
※ AAC、MP3、WMA方式以外に対応するためには、ソフトウェア等のバージョンアップが必要です。バージョンアップは有償とさせていただきます場合があります。
- 6 付属の専用ソフトウェアLiquid Playerを使って音楽CDを高品質・高圧縮のAAC形式にしてLQTファイル(55ページを参照してください。)でパソコンのハードディスクに記録。
- 7 本体とパソコンを専用USBケーブルで接続、データを高速転送。
- 8 操作性に優れたジョグスイッチを採用。

ご注意

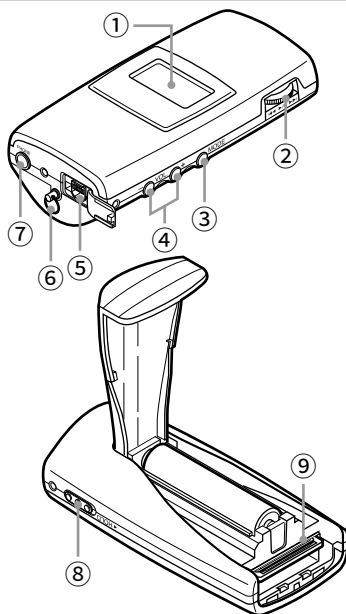
- あなたがインポートしたものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品およびパソコンの不具合によりインポートやダウンロードができなかった場合、および音楽データが破損または消去された場合の補償については、ご容赦ください。
- Liquid Playerは、著作権保護の観点からデータを暗号化して保存しているため、現時点では音楽ファイルのバックアップ・リストアには対応しておりません。システムリカバリをおこなった場合やシステムクラッシュなどの問題が起きた場合には、取り込んだ音楽ファイルが失われることがあります。
- パソコンを買い換えた場合には、従来のパソコンで持っていた音楽ファイルの利用には制限があります。(「著作権保護による制限事項」1、2項を参照)

各部のなまえ

くわしくは、()内のページをご覧ください。

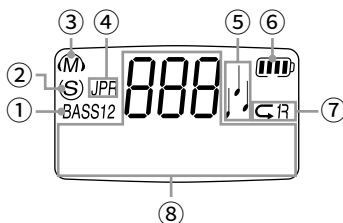
本体

準備



- ① 表示パネル
- ② ジョグスイッチ〔プレイ/ストップ/スキップ/サーチ〕(38ページ)
- ③ MODE〔モードボタン〕(39ページ)
- ④ -VOL+〔音量ボタン〕(38ページ)
- ⑤ USBケーブル接続部(14、23、26ページ)
- ⑥ ストラップ取付部
- ⑦ PHONES〔ヘッドホン〕端子(37ページ)
- ⑧ HOLD〔ホールドスイッチ〕(42ページ)
- ⑨ マルチメディアカード挿入口(26、37ページ)

表示パネル



- ① バスブースト表示(40ページ)
- ② 3Dサラウンドモード表示(41ページ)
- ③ マナーモード表示(40ページ)
- ④ プリセットイコライザー表示(41ページ)
- ⑤ 再生/一時停止表示
- ⑥ 電池残量表示(25ページ)
- ⑦ 再生モード表示(40ページ)
- ⑧ 演奏時間/タイトル表示

お使いになる前に

必要なシステム構成

付属のソフトウェアをお使いいただくには、次のようなハードウェア、ソフトウェアが必要です。

- 以下の性能を満たしたIBM PC/AT互換機 (NEC PC-98シリーズとその互換機では動作保証いたしません。また、Macintoshなどでは動作しません。)
 - CPU:MMXテクノロジーPentium 233MHz以上推奨
 - ハードディスクの空き容量:50MB以上(音楽データ扱い量に比例して、空き容量が必要です。)
 - RAM:32MB以上を推奨
 - サウンドカード:Windows互換の16-bitをサポートするサウンドカード
 - USBポート
 - CD-ROMドライブ
- ※ 音楽CDから音楽データを入手するには、デジタルデータ抽出機能をサポートしている必要があります。
- Webブラウザ:Microsoft Internet Explorerの最新バージョン
- OS:Windows 98/Windows 98 Second Edition/Windows Millenium Edition/Windows 2000 Professional Edition
- 以下の環境での動作保証はいたしません。
 - ーWindows 各OSからのアップグレード環境
 - ーWindows 95、Windows NT
 - ーWindows 各OSのデュアルブート環境
- ディスプレイ:640×480ドット、256色以上(800×600ドット、65536色以上を推奨)
- インターネット音楽配信サービスを利用する場合は、インターネットへの接続環境

ご注意

推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

Windows 2000でのご使用について

Windows 2000上で付属ソフトウェアを動作させる場合、下記の制限があります。

- インストールは管理者用のアカウント(Administrators)のユーザーでおこなってください。
- 使用時は管理者権限(Administrators)または、標準ユーザー権限(Power Users)のユーザーでログインしてください。
- Windows 2000で導入された「ダイナミックディスク」には動作保証していません。
- デジタルメモリプレーヤーから接続されたUSBケーブルを抜く場合、およびデジタルプレーヤーからマルチメディアカードを抜く場合は、かならずシステムトレイの「ハードウェアの取り外し、または取り出し」で停止処理をおこなった後で取り外しをしてください。

Windows Meでのご使用について

Windows Millenium Editionをお使いの場合、システムツール「システムの復元」を実行しますと、Liquid Playerで管理している曲がデジタルメモリプレーヤーへ転送できなくなることがあります。

この取扱説明書について

本書では、デジタルメモリプレーヤー本体と付属のソフトウェアLiquid Playerの基本的な使いかたを説明しています。付属のソフトウェアLiquid Playerの各メニューの内容やさらに詳しい説明についてはソフトウェアのオンラインヘルプをご覧ください。

オンラインヘルプの使いかた

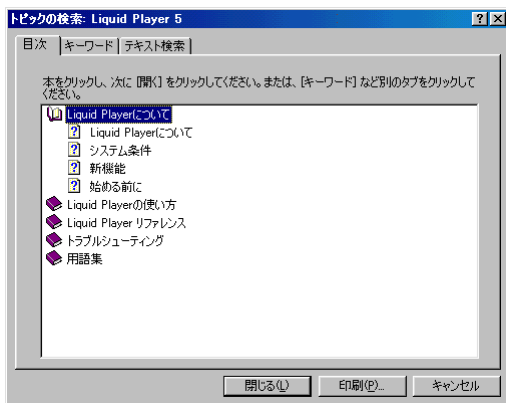
オンラインヘルプを表示するには

- Liquid Playerを起動した状態で、[ヘルプ(H)]メニューから[目次(C)]を選択する。

ヘルプの目次から検索するには

付属のソフトウェアのオンラインヘルプは2部構成になっています。

-  をダブルクリックすると、その中にある項目のタイトルが表示されます。
-  をダブルクリックすると、その項目の説明が表示されます。
- 説明文中の下線部分をクリックすると、関連する説明のページが表示されます。



キーワードで検索するには

上のトピックの検索ダイアログで、[キーワード]タブをクリックすると、目次が消えてキーワードの一覧が表示されます。

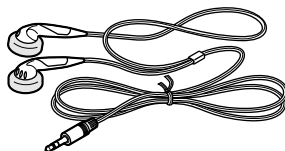
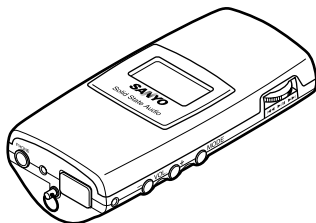
キーワードを探すには、検索する語句を入れるか、またはキーワードの一覧をスクロールします。

キーワードの説明を表示するには、キーワードの一覧からキーワードを選択して[表示(D)]をクリックします。

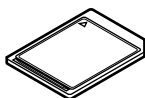
準備その1 付属品の確認

箱から出したら、付属品がそろっているか確認してください。

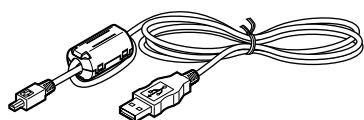
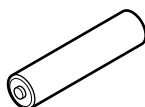
- デジタルメモリプレーヤー本体 1
- ヘッドホン 1



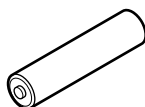
- マルチメディアカード (64 MB) 1
- ヘッドホン延長ケーブル 1



- 単4ニッケル水素充電電池 1
- 専用USB接続ケーブル 1



- 単4アルカリ乾電池 1



- CD-ROM 1
- キャリングポーチ 1
- ストラップ 1
- 取扱説明書(保証書付) 1
- ユーザー登録カード 1

ご注意

付属のソフトウェアインストールCD-ROMは大切に保管してください。

準備その2 ソフトウェアのインストール

お手持ちのパソコンのハードディスクにソフトウェアLiquid Playerをインストールします。あらかじめパソコンを動作状態にしておきます。

※すでにLiquid Playerソフトウェアをインストールされているお客さまは、一旦、Liquid Playerをアンインストールしてから、本機付属のLiquid Playerソフトウェアをインストールしてください。

Windows 2000をお使いの場合は管理者用のアカウント (Administrators) のユーザーでログオンしてください。

ご注意

専用USBケーブルを接続する前に必ずソフトウェアをインストールしてください。また、接続した状態でインストールをおこなわないでください。必ず、インストール完了後、パソコンを再起動してから接続してください。

準備

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する

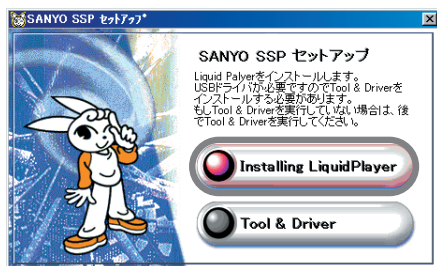
ご注意

- インストールするときは、Windowsの他のアプリケーションは終了させておいてください。
- 著作権の関係上、パソコンの[日付と時刻のプロパティ]などで日時を大幅に変更すると、音楽データの再生または本機への転送ができなくなることがあります。Liquid Playerをインストールする前に日時に問題がないことを確認することをおすすめします。

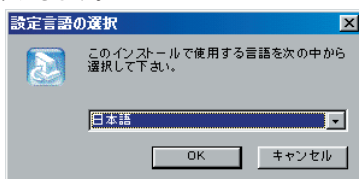
2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する

CD-ROMを入れると、[SANYO SSP セットアップ]が起動し、以下の画面が表示されます。起動できない場合は、エクスプローラなどで[setup.exe]をダブルクリックしてください。

最初に[Installing LiquidPlayer]ボタンを押してソフトウェアをインストールします。



[Installing LiquidPlayer]ボタンを押すと設定言語の選択画面が表示されますので、[日本語]を選び[OK]をクリックします。



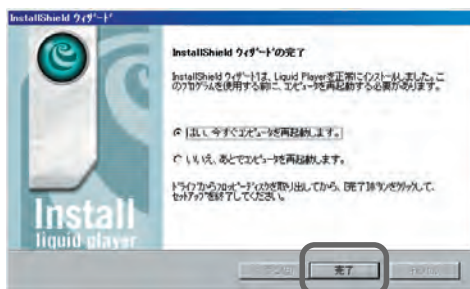
画面の指示に従ってインストールをおこなってください。

ご注意

- 使用許諾契約に同意されなかった場合「Liquid Player」はインストールされません。
- Liquid Playerをドライブの先頭(C: D: など)にインストールしないでください。

3 画面の指示に従って操作をする

インストールが終了すると、以下のダイアログボックスが表示されます。



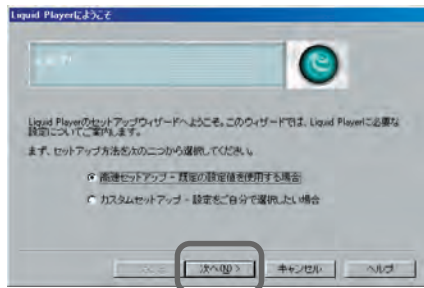
CD-ROMドライブからCD-ROMを取り出した後、[完了]をクリックして、パソコンを再起動します。

ご注意

インストールしたフォルダはソフトウェア「Liquid Player」が使用します。削除、移動、内容の変更などはおこなわないでください。

4 Liquid Playerの設定

再起動後、Liquid Playerが自動的に起動して、「Liquid Player」のセットアップウィザードの画面が表示されます。



準備

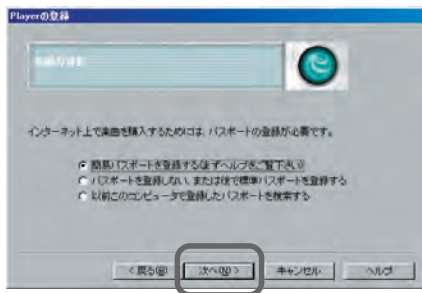
設定方法には以下の2種類があります。

- 高速セットアップ 既定の設定値を使用して、設定をします。
- カスタムセットアップ 設定値を選択して、設定をします。

どちらかを選んで[次へ]をクリックします。

1. 登録の選択

登録を完了すると、楽曲をインターネット上でダウンロード・購入が可能になります。



ご注意

Liquid Playerのアップグレードや、再インストールなどの時、インストール先のフォルダに登録済みのパスポートがあれば [登録の選択] が表示されず、項目2の[Liquid Audio形式のファイル]に移ります。

登録には以下の3種類があります。

● 簡易パスポートを登録する

[登録情報]の画面が表示されますので、必要事項を入力します。国名については[日本]を選択します。設定終了後、Liquid Audio社に接続され、Liquid Playerの登録とEMDサービスのご利用に必要な手続きが完了します。

● パスポートを登録しない、または後で標準パスポートを登録する

何もせずに、次の設定項目に移ります。

パスポートを後から登録するには、[ファイル]メニューの[登録]の中から[パスポートの登録]を選択します。

● 以前このコンピュータで登録したパスポートを検索する

設定終了後、コンピュータ内を検索して以前登録したパスポートを探して使用可能にします。

高速セットアップで設定した場合は、[次へ]をクリックすると、20ページ項目4の終了画面になります。

※各サービスプロバイダーとの契約が別途必要です。また、お客様のセキュリティ保護のため、お客様がお使いのブラウザとWWWサーバーとの間で暗号通信(SSL)を設けています。そのため、プロキシサーバー等でSSLが使用できない環境(企業からのアクセス等)にあるお客様はご利用できない場合があります。その場合は、ネットワーク管理者へご相談ください。

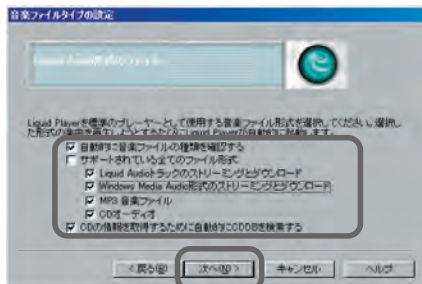
パスポートの種類

パスポートには以下の2種類があります。

- 簡易パスポート Liquid Playerをインストールしたパソコンでのみ楽曲をダウンロード・再生できます。
- 標準パスポート 複数のパソコンで楽曲のダウンロード・再生ができます。
(クレジットカード番号や個人情報の入力が必要) この場合、利用するパソコンに音楽データとパスポートをコピーする必要があります。(デジタルメモリープレイヤーへの楽曲の転送は、最初にダウンロードしたパソコンでしかできません。)

2. Liquid Audio形式のファイル

Liquid Playerを標準のプレーヤーとして使用する音楽ファイル形式の選択と、CDDBからの一般情報の入手を自動でおこなう設定ができます。



- **[自動的に音楽ファイルの種類を確認する]**をクリックする

Liquid Playerの音楽ファイルが、他のソフトによって再生されても、再びLiquid Playerで再生しようとするれば、自動的にLiquid Playerの音楽ファイルとして再設定します。

- **[サポートされている全てのファイル形式]**をクリックする

Liquid Playerで再生できる全ての形式の標準プレーヤーに設定します。

サポートされている全てのファイル形式をクリックしない場合、個々のファイル形式を選ぶこともできます。

- **[CDの情報を取得するために自動的にCDDBを検索する]**をクリックする

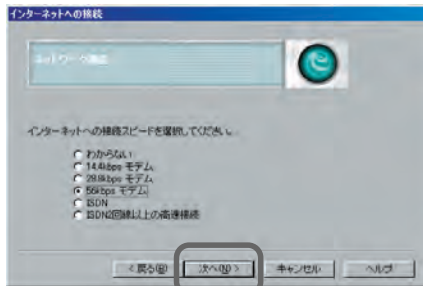
インポートしたいCDを挿入すると、自動的にCDDBに接続され、楽曲の情報(アルバム名、曲名、アーティスト名など)を入手することができます。

ご注意

- **[CDの情報を取得するために自動的にCDDBを検索する]**設定にしている場合、情報が入力されない場合があります。
- CDDBを利用するには、インターネットの接続環境と、「Liquid Player」の登録が必要です。

3. ネットワーク接続

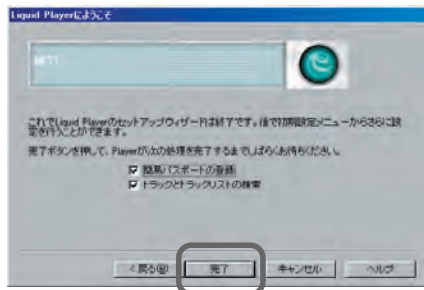
インターネットに接続する時の接続スピードを選択します。



- わからない TI/EI (ケーブルテレビ相当) の設定になります。
 - 14.4kbps モデム
 - 28.8kbps モデム
 - 56kbps モデム
 - ISDN ISDN回線での接続
 - ISDN2回線以上の高速接続 . ISDNを2回線使用した接続、もしくは専用線での接続
- アナログ電話回線での接続
パソコンに接続、もしくは内蔵されたモデムを確認して
ください。

4. 終了

次の画面が設定終了画面となります。**[完了]**をクリックしてください。簡易パスポートの登録、もしくは以前登録したパスポートの検索とパソコン内の音楽データを検索し、「Liquid Player」に登録します。



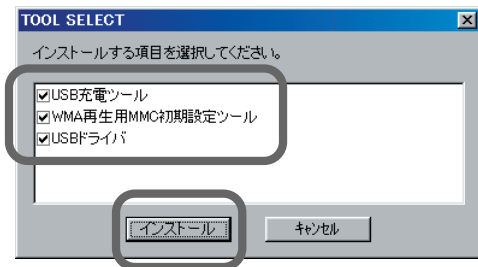
※ 上図の終了画面は「以前このコンピュータで登録したパスポートを検索する」を選択したときの終了画面です。

5 デジタルメモリプレーヤー対応ソフトのインストール

Liquid Playerを終了させてください。CD-ROMを入れると、[SANYO SSP セットアップ]が起動し、以下の画面が表示されます。



[Tool & Driver]ボタンを押すと、インストールするソフトウェアの選択画面が表示されますので、必要なソフトウェアを選択した後、[インストール]ボタンを押します。



画面の指示に従ってインストールをおこなってください。

※ 付属のCD-ROMの中にある「ReadMePD9 JP」ファイルをご覧ください。

各種のサポート情報を載せております。

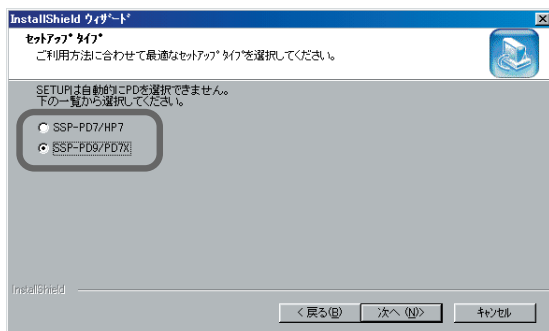
※ Windows 98、Windows 98 Second EditionはWMA再生用MMC初期設定ツールソフトをインストールできません。このソフトはWMA形式の音楽ファイルをデジタルメモリプレーヤーで再生するためのソフトです。

各ソフトウェアの説明は以下の通りです。

- USB充電ツール USB充電用のソフトをインストールします。充電式電池を充電する場合に必要です。
USB充電については23～25ページをご覧ください。
- WMA再生用MMC初期設定ツール ... マルチメディアカードの中にWMAファイル再生ソフトを書き込むためのソフトをインストールします。WMA形式の音楽ファイルを再生するために必要です。
WMA形式の音楽ファイルについては48ページ「Windows Media™ Player 7のWMA形式の音楽ファイルを聞くには」をご覧ください。
- USBドライバ USBドライバソフトをインストールします。

ご注意

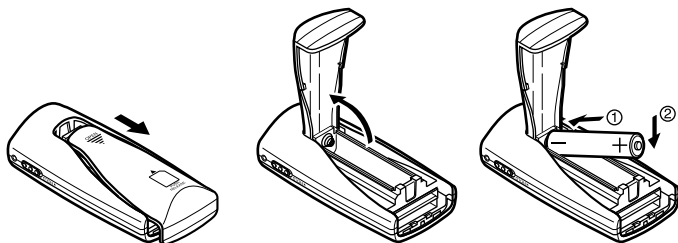
USBドライバをインストールする場合、お使いになる機種によって必要なUSBドライバソフトが異なります。[SSP-PD9/PD7X]を選択してください。



準備その3 充電式電池の充電

充電式電池を初めてご使用になる場合は、充電式電池を充電してください。充電時間は約5時間です。

1 充電式電池を本体に入れる



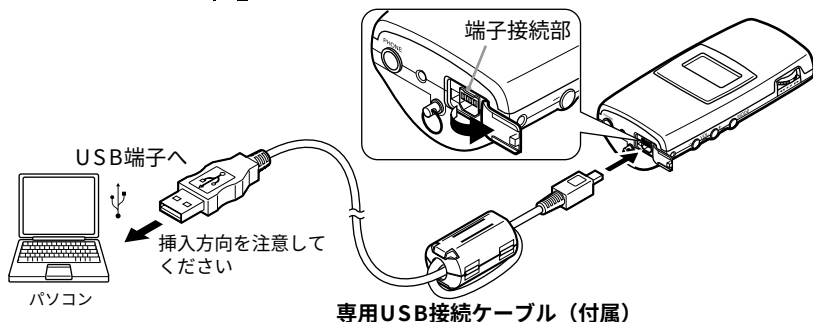
2 デジタルメモリプレーヤーをパソコンにつなぐ

USB充電ツールとUSBドライバをインストールしておく必要があります。

くわしくは21ページ「デジタルメモリプレーヤー対応ソフトのインストール」をご覧ください。

付属の専用USB接続ケーブルの小さい方のコネクタ部分をデジタルメモリプレーヤーの端子接続部に、大きい方のコネクタ部分をパソコンのUSB端子に挿入します。

本機の表示部に「※ PC ※」と表示されます。



注意

- 付属充電電池または別売の充電式ニッケル水素電池(HR-4US)以外の電池は充電しないでください。電池の液漏れや破裂、発熱の原因となります。
- 充電は周囲の温度が0～35℃の環境でおこなってください。

3 USB充電をする

1 [スタート]メニューから[プログラム]を選択します

プルダウンメニューが表示されます。

2 [Ssptool]—[USB充電ツール]を選択します

ソフトウェアが起動し、USBアイコン (USB) がタスクバーに表示されます。

が表示された場合

- デジタルメモリプレーヤーが接続されていません。
- 「Liquid Player」の起動中は充電できません。

が表示された場合

青色: USB充電可能

赤色: USB充電完了

青色と赤色の点滅: USB充電中

※ 「USB充電ツール」のインストール時に[スタートアップにアプリケーションを登録します]を選択すると1-2の項目は不要となります。

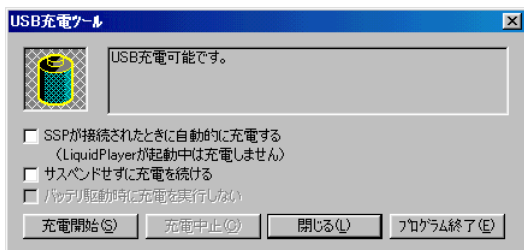
3 タスクバー内の アイコンを右マウスボタンでクリックし、[充電開始]を選択します

充電が始まり、 アイコンが青色と赤色に点滅します。



充電が終了すると、 アイコンが赤色になります。

※ [設定]を選択すると、[充電開始(S)]などの操作をウィンドウ上でおこなうことができます。



- 4 タスクバー内の  を右マウスボタンでクリックし、[プログラム終了]を選択します

ご注意

付属充電電池以外の電池を充電しようとしたり、不良充電電池を充電しようすると「USB充電開始コマンドでエラーが発生しました(0)」と表示されます。付属の充電電池以外の電池を充電しないでください。また、充電電池の不良と考えられる場合は、販売店にご相談ください。

- ※ 付属のCD-ROMの中にある「ReadMePD9JP」テキストをご覧ください。
各種のサポート情報を載せております。
- ※ 付属または市販のアルカリ乾電池を用いて利用することもできます。

電池の持続時間

市販のアルカリ乾電池 約7.5時間(連続再生時)

付属のニッケル水素充電電池 約5.5時間(連続再生時)

マルチメディアカードに音楽を入れる

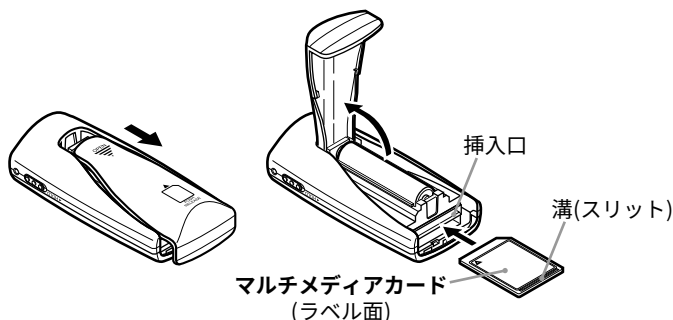
ここでは、音楽CDをパソコンのハードディスクにインポートしてマルチメディアカードに転送する方法を説明しています。

インターネット音楽配信サービスを利用して楽曲をダウンロードし、LQT形式やMP3形式等のファイルを暗号化して取り込むこともできます。

1 デジタルメモリプレーヤーをパソコンに接続する

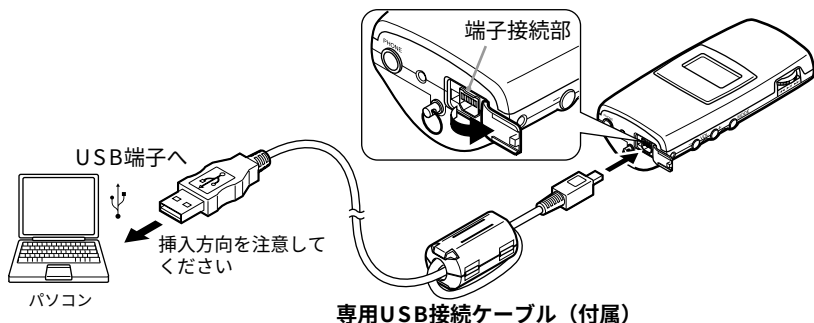
① マルチメディアカードを入れる。

裏面のカバーを開けて、マルチメディアカードを図のような方向で挿入口に入れ、さらに中へ押し込むとロックがかかり、正しく挿入できます。



② デジタルメモリプレーヤーとパソコンを接続する。

付属の専用USB接続ケーブルの小さい方のコネクタ部分をデジタルメモリプレーヤーの端子接続部に、大きい方のコネクタ部分をパソコンのUSB端子に挿入します。
本機の表示部に「※ PC ※」と表示されます。



ご注意

- Liquid Playerを起動するときは、Windowsの他のアプリケーションは終了させておいてください。
- 1台のパソコンに2台以上のUSB機器を接続した場合の動作保証はいたしかねます。
- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしかねます。必ず、付属の専用USBケーブルのみで接続してください。
- 初めてパソコンに接続したときのみ、USBドライバのインストールの画面が表示されます。画面の指示に従ってください。
- パソコン接続時、本機に電池がなくても動作します。

2 ソフトウェアを起動する

デスクトップの[Liquid Player]アイコンをダブルクリックするか、[スタート]メニューから[プログラム(P)]→[Liquid Player]を選び、[Liquid Player]をクリックする。
「Liquid Player」ウィンドウが表示されます。



[楽曲のインポート]をはじめて選択した場合、[CDインポートウィザード]画面が表示されます。ここで選択された設定は、Liquid Playerの標準設定として保存されます。ステップ2からステップ6までの画面で、各設定を選択してください。

ステップ1

次のステップに移るには[次へ]を押します。

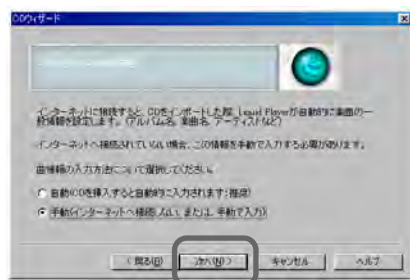


ステップ2

曲情報の入力方法

CDをインポートした際に、自動的に曲の一般情報(アルバム名、曲名、アーティスト名など)が入力されるか手動で入力するかを選択します。

[自動]を選択していても、一般情報が入力されない場合があります。



※ この機能を動作させるには、インターネットへの接続が必要です。

ステップ3

保存先フォルダ

インポートされた曲ファイルの保存場所を選択します。通常は[Program Files]—[Liquid Audio]—[Liquid Player]—[Tracks]フォルダに保存されます。

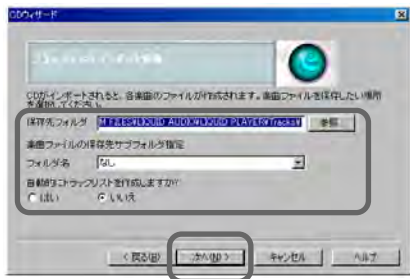
保存場所を変更する場合は[参照]ボタンを押して、保存場所を選択してください。

楽曲ファイルの保存先

保存先フォルダの下にサブフォルダを指定して、音楽データを保存することができます。

トラックリスト作成

自動的にインポートした曲のトラックリストを作成するかどうかを選択します。

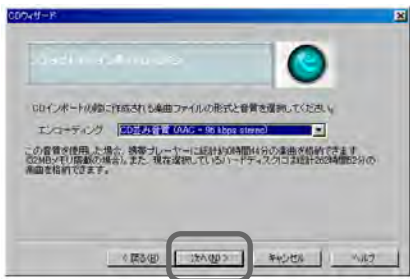


ステップ4

CDインポートで作成する曲のビットレート

CDインポートする際の曲のビットレートをプルダウンメニューより選択します。

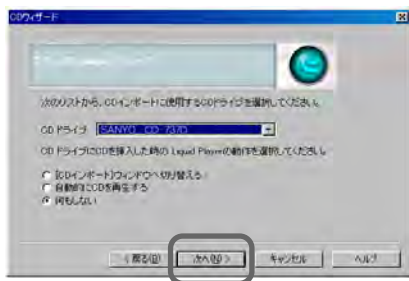
くわしくは31ページ「ビットレートについて」をご覧ください。



ステップ5

CDドライブ選択

CDインポートに使用するCDドライブとそのドライブにCDを入れたときのLiquid Playerの対応を選択します。

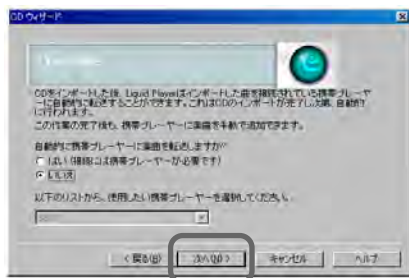


ステップ6

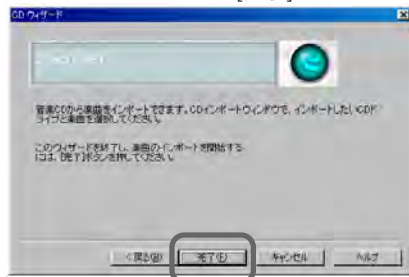
デジタルメモリプレーヤーへの転送設定

曲をインポートした後、自動的にデジタルメモリプレーヤーに転送する画面までスキップするかどうかを選択します。

この設定を選択すると、34ページ 4の「 [実行]ボタンをクリックする」の画面に移ります。



ステップ7の画面が、設定終了画面となります。[完了]ボタンを押してください。



以上で[楽曲のインポート]の設定は終わりです。

3 音楽CDをインポートしてハードディスクに保存する

「Liquid Player」ソフトウェアを使って、CDの曲をパソコンのハードディスクに保存することをインポートといいます。

1 インポートしたい音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブに入れる。

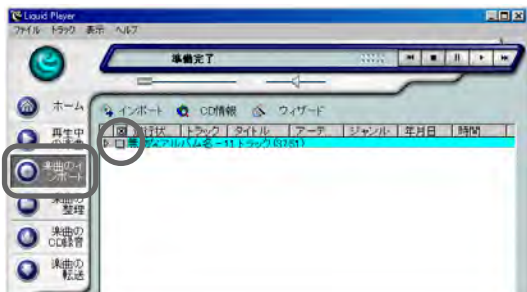
設定によっては、CDを入れると[楽曲のインポート]画面が自動的に起動します。その場合は手順3へ進んでください。

ご注意

CDを入れたときに「CDプレーヤー」などのプレーヤーソフトが立ち上がっている場合は、必ずソフトを終了させてください。

2 「Liquid Player」ウィンドウの[楽曲のインポート]をクリックする。

以下の画面が表示され、音楽CDのタイトル・トラック数・収録時間が表示されます。



ビットレートについて

インポートする際のビットレートを128kbps、96kbps、78kbps、64kbpsから選ぶことができます。高いビットレートでインポートする場合、音質は良くなりますが、1枚のマルチメディアカードにインポートできる合計時間は短くなります。低いビットレートでインポートする場合、音質は劣りますが、合計時間は長くなります。

付属のマルチメディアカード(64 MB)に転送する場合、以下のようになります。

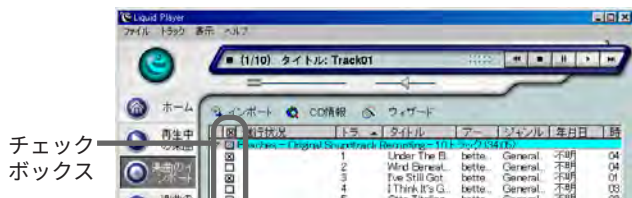
- | | |
|--------------------|----------|
| □ 128kbps (高音質) | = 約 60分 |
| □ 96kbps (CD並みの音質) | = 約 84分 |
| □ 78kbps (標準音質) | = 約 104分 |
| □ 64kbps (FM音質) | = 約 120分 |

※ 曲数などにより、インポート可能時間は異なります。

※ 音質の表現については目安です。

ビットレートの選択は、[ファイル]メニューから[初期設定]－[楽曲のインポート]の中に表示される[エンコード]ダイアログボックスの中でおこないます。[設定]タブをクリックしてドロップダウンリストの中から選びます。

- 3 ▶をクリックし、インポートしたい曲のチェックボックスにチェックマークを入れる。
CDの曲をすべてインポートしたい場合は、アルバムタイトルのチェックボックスにチェックマークを入れると、アルバム内のすべての曲にチェックマークが入ります。



注意

- CDDBの設定が手動の場合、音楽CDを入れても曲名などの情報は全て不明と表示されます。CDDBを自動にしておくか「Liquid Player」ウィンドウの[CD情報]をクリックすれば、情報が入力されます。また、それぞれの項目を手動で入力する場合、入力する項目をクリックして、直接キーボードから文字を入力します。
- 各名称は「英/数/カナ/漢字」で入力することができますが、デジタルメモリープレイヤーの表示パネルでは、「英/数」のみが表示され、「カナ/漢字」は表示されませんので曲名などは「英/数」で入力してください。「カナ/漢字」で入力された文字はブランク表示されます。

4 [インポート]ボタンをクリックする。

選択した曲のインポートが始まります。インポートが終了すると、[進行状況]項目に「完了」と表示され、Liquid Playerに登録されます。



MP3ファイルをインポートするには

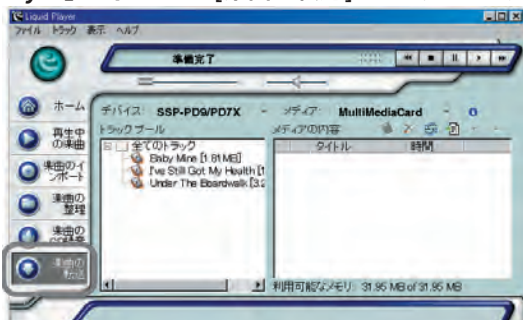
1. 「Liquid Player」ウィンドウの[楽曲の整理]をクリックします。
2. 「Liquid Player」の「検索」をクリックし、「トラックリストを検索」ダイアログを表示させます。
3. MP3ファイルのあるフォルダを検索するフォルダに選び、「検索」をクリックします。
4. 検索されたMP3ファイルはトラックプールに登録されます。

4 音楽データをマルチメディアカードに転送する

ご注意

- あらかじめ、マルチメディアカードの入ったデジタルメモリプレーヤーとパソコンを接続しておいてください。
- デジタルメモリプレーヤーでは255曲まで再生できます。

1 「Liquid Player」ウィンドウの[楽曲の転送]をクリックする。



2 [トラックプール] から転送したい曲を含むリストをクリックする。

リスト内の曲が表示されます。

あらかじめ[楽曲の整理]で転送したい曲をグループごとに分けておくことができます。グループ分けされた曲は[トラックリスト]画面でリスト表示されます。

3 転送したい曲を[トラックプール]から[メディアの内容]へドラッグアンドドロップする。



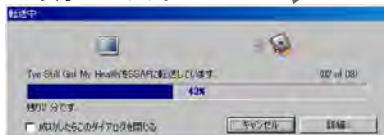
転送候補曲を取り消す場合は、メディアの内容の取り消す曲を選択して、[削除]ボタンをクリックします。

※ MP3ファイルを[メディアの内容]画面にドラッグアンドドロップすると、「トラックを確認しています...」画面が表示され、情報が読み込まれます。

4 [実行] ボタンをクリックする。



「転送中」ウィンドウが表示されます。



転送が終了したら[OK]をクリックします。

候補曲がすべてデジタルメモリープレーヤーに転送されますと曲名の前のアイコンが  から  に変わります。

転送を途中でやめるには[キャンセル]ボタンをクリックします。

ご注意

読み込み中や、書き込み中にマルチメディアカードやUSBケーブルを抜かないでください。
マルチメディアカードが壊れる恐れがあります。

転送した音楽データの再生順番を変更するには

1. [メディアの内容]の画面で再生順番を変更したい楽曲をクリックします。
2. 移動したい位置に[▼]または[▲]を使って移動します。移動した曲の前のアイコンが  に変わります。
3.  [実行]ボタンをクリックします。

音楽データを消去する場合は

- マルチメディアカード内のデータを消去する場合
[楽曲の転送]の[メディアの内容]画面で消去したい曲を選んで  [削除]ボタンをクリックし、更に  [実行]ボタンをクリックします。
- リキッドプレーヤー(パソコン)内のグループ分けしたリストのデータを消去する場合
[楽曲の整理]の[トラックプール]画面で消去したいリストを選んで  [削除]ボタンをクリックします。
- Liquid Player(パソコン)内のデータを消去する場合
[楽曲の整理]の[トラックプール]画面で消去したい曲を選んで  [削除]ボタンをクリックします。
 [削除]ボタンで削除した楽曲は、[トラックプール]の画面から削除されますが、楽曲データは残っていますので、再度検索すれば、[トラックプール]に登録することができます。

ご注意

マウスの右ボタンをクリックして表れるメニューから削除した楽曲は、[トラックリスト]から削除されただけでなくデータそのものが削除されます。削除する前にもう一度よく確認をしてください。

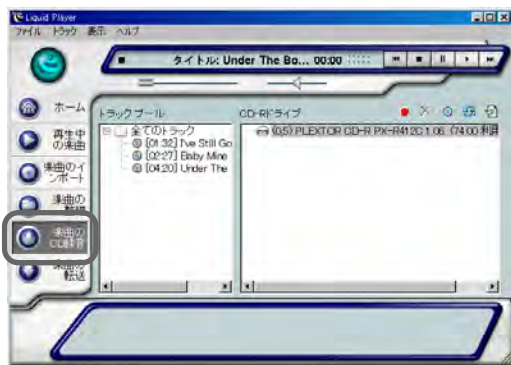
CD-Rに音楽データを入れる

ご注意

あらかじめ、「Liquid Player」に対応したCD-Rドライブが必要です。対応ドライブについては、MUSIC SANYOのホームページ(<http://www.music.sanyo.co.jp/player/>)から最新情報を入手してください。

1 「Liquid Player」ウィンドウの[楽曲のCD録音]をクリックする。

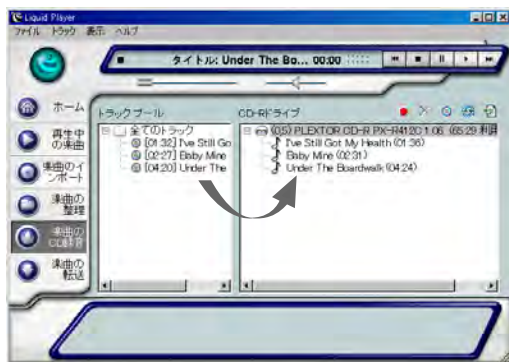
CD-Rドライブに、書き込み用のブランクディスクをセットします。



基本操作

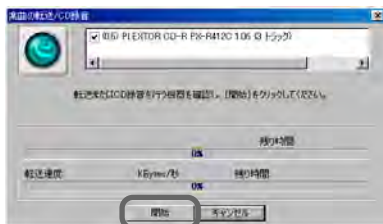
2 書き込みをする楽曲を、[トラックプール] から「CD-Rドライブ」へドラッグアンドドロップする。

基本操作は、33ページの「音楽データをマルチメディアカードに転送する」場合と同じです。



3 ● [実行]ボタンをクリックする。

[楽曲の転送/CD 録音]のウィンドが表示されます。



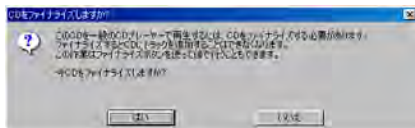
[開始]をクリックすると CD-R への書き込みが始まります。

ご注意

書き込み動作中は、他の作業はおこなわないでください。バッファアンダーランなどのエラーで書き込みを失敗する場合があります。

4 書き込んだCD のファイナライズ

書き込みが終了すると、以下のウィンドが表示されます。



これ以上書き込みをしない場合や、すぐにCDプレーヤーで再生する場合は[はい]をクリックしてCDをファイナライズしてください。

後で曲を追加したい場合には[いいえ]をクリックします。この場合、ファイナライズするまでCDプレーヤーでの再生はできません。

後でファイナライズする場合は、ファイナライズするCDをCD-Rドライブに入れ、 (ファイナライズ)ボタンをクリックします。

ご注意

一度ファイナライズをおこなうと、追加書き込みができなくなりますので、ご注意ください。

デジタルメモリプレーヤーで音楽を聞く

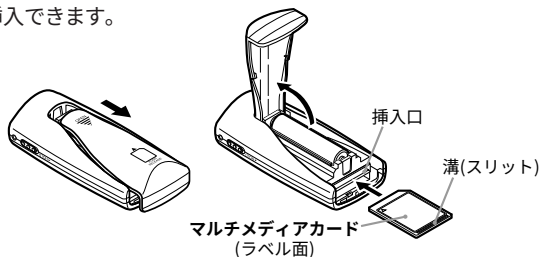
充電式電池を使われる場合は、あらかじめ充電しておいてください。(23ページ)

注意

- デジタルメモリプレーヤーを操作するときは、パソコンとの接続をはずしてください。
- 本機器に転送された音楽データは、他のデジタルメモリプレーヤーでは再生できません。

1 音楽の入ったマルチメディアカードを入れる

マルチメディアカードを図のような方向で挿入口に入れ、さらに中へ押し込むとロックがかかります、正しく挿入できます。

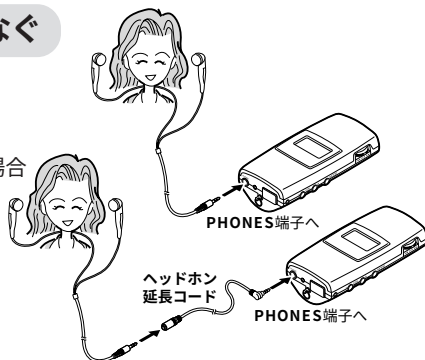


マルチメディアカードを取り出すには

マルチメディアカードを一度中に押し込むと、ロックが外れて取り出せます。

2 ヘッドホンをつなぐ

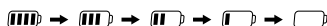
付属の延長コードを使う場合



電池残量の表示について

ご使用中、ディスプレイの電池残量表示でお知らせします。

電池残量が少なくなると、ピープ音のあと表示部に「L_BATT」と表示してから電源が切れます。



電池を充電または交換してください。

3 再生する



- ① ジョグスイッチを押すと電源が入り、表示部に「Hello!」と表示します。
 - ② 電源が入ると再生をはじめます。
※ 曲にタイトル名が入っていると、曲名が表示されます。また、再生中に曲の再生時間を表示します。
 - ③ VOLUMEボタンで音量を調節します。
- 最後まで再生すると、自動的に電源が切れます(リピートモードを除く)。

- 音楽データの再生順番は転送順に関係なくLiquid Player—Windows Media Player 7の順になります。

再生ができないときは

HOLD(誤操作防止)スイッチが「HOLD」側になっていないか確認してください。(42ページ)

途中で再生を止めるには(電源OFF)

1. ジョグスイッチを約3秒間押すと、表示部に「Bye!」と表示し、電源が切れます。
次に再生状態にすると、1曲目から再生します。
2. ジョグスイッチを押して一時停止状態にすると、約10秒後に自動的に電源が切れます。
次に再生状態にすると、以前に停止したところから再生します。
※ ランダムリピート中に一時停止して、再度電源を入れる(再生状態にする)とランダムにトラックの頭から再生します。

その他の操作

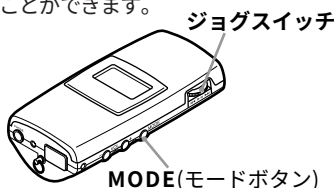


こんなときは	ジョグスイッチでの操作
一時停止する1)	再生中に押す
一時停止を解除する	一時停止中に押す
今聞いている曲の頭出しをする	下に一度動かす
前の曲、さらに前の曲の頭出しをする2)	下に繰り返し動かす
次の曲の頭出しをする	上に一度動かす
さらに先の曲の頭出しをする	上に繰り返し動かす
早戻しする	再生中に下に動かして、そのまま保持する
早送りする	再生中に上に動かして、そのまま保持する

- 1) 一時停止状態のまま約10秒間操作がないと、自動的に電源が切れます。
- 2) ランダムリピート中は、今聞いている曲の頭出ししかできません。

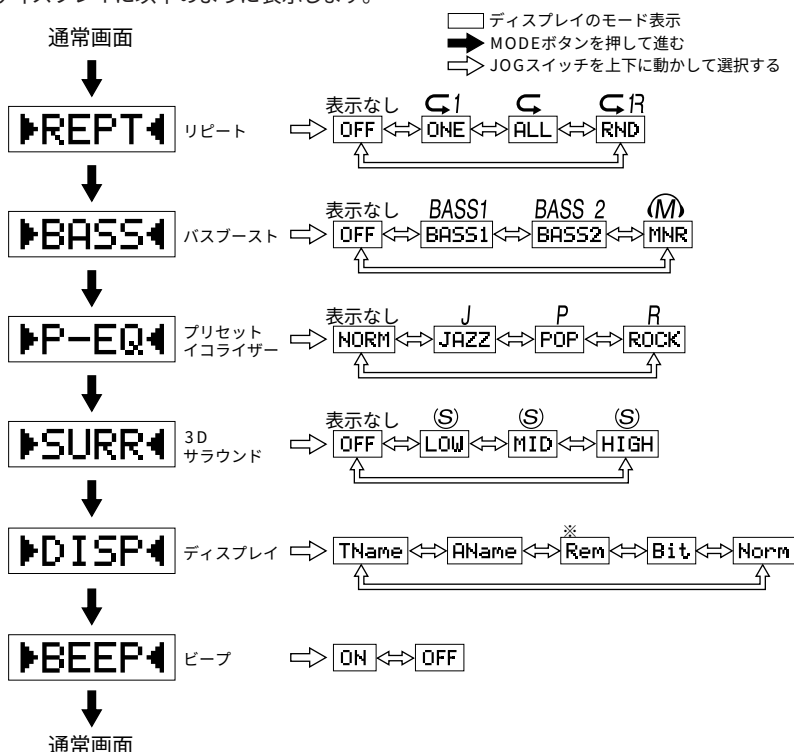
いろいろな再生のしかた

再生中にMODE(モードボタン)を押してメニューモードに入り、ジョグスイッチで選択することで各種設定を変更することができます。



モード一覧

ディスプレイに以下のように表示します。



※ **Rem** にするとノーマルポジションにしない限り、曲の残り時間を表示します。
 MP3の音楽データを再生時、可変ビットレート(VBR)方式のMP3データを再生するとき
 時間表示が正しく表示されません。

繰り返し聞く(REPT/リピート)

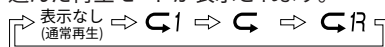
マルチメディアカード内の1曲リピート、全曲リピート、ランダムリピートの3通りの方法があります。

再生モード	再生モード表示	タイトル表示
通常の再生	なし	OFF
1 曲を繰り返し再生	↺1	ONE
全曲を繰り返し再生	↺	ALL
全曲を順不同に並べ替えて再生し、 再び繰り返し並べ替えて再生	↺R	RND

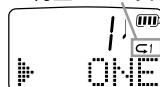
- 1 **MODE (モードボタン)** を押して
[REPT]を表示させる



- 2 ジョグスイッチを上または下へ動かして「↺1」、「↺」、「↺R」から選ぶ
選んだ再生モードが表示されます。



再生モード表示



1 曲のリピートを選択した場合

- 3 設定の確定

しばらく操作をしない状態でいると、変更した設定が確定され通常画面に戻ります。

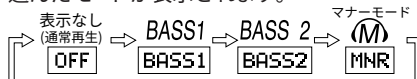
音質を変える(BASS/バスブースト)

低音域が強調された迫力ある再生(BASS1およびBASS2)や、まわりの人の迷惑になる場所でお聞きになるとき、再生(マナーモード)の選択ができます。

- 1 **MODE (モードボタン)** を押して
[BASS]を表示させる



- 2 ジョグスイッチを上または下へ動かして「BASS1」、「BASS2」、「(M)」から選ぶ
選んだモードが表示されます。



モード表示



マナーモードを選択した場合

- 3 設定の確定

しばらく操作をしない状態でいると、変更した設定が確定され通常画面に戻ります。

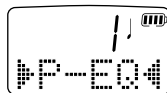
ご注意

BASS1や BASS2 を選択しているとき音量を上げたり電池残量や曲の種類によっては、音が割れたり、ひずんだりすることがありますので、その場合は音量を下げるか機能を「表示なし(通常再生)」にしてください。

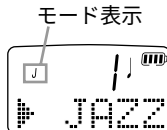
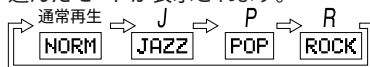
音楽にあった音を選ぶ(P-EQ/プリセットイコライザー)

プリセットイコライザー(「NORM」、「JAZZ」、「POP」、「ROCK」)を音楽や状況に合わせて選択できます。

- 1 **MODE (モードボタン)**を押して
[P-EQ]を表示させる



- 2 ジョグスイッチを上または下へ動かして
「NORM」、「JAZZ」、「POP」、「ROCK」から選ぶ
選んだモードが表示されます。



JAZZを選択した場合

- 3 **設定の確定**

しばらく操作をしない状態であると、変更した設定が確定され通常画面に戻ります。

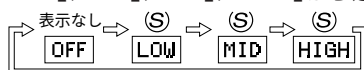
音のひろがりを選ぶ(SURR/3Dサラウンド)

再生中の音楽に臨場感を与えることができます。

- 1 **MODE (モードボタン)**を押して
[SURR]を表示させる



- 2 ジョグスイッチを上または下へ動かして
「OFF」、「LOW」、「MID」、「HIGH」から選ぶ



- 3 **設定の確定**

しばらく操作をしない状態であると、変更した設定が確定され通常画面に戻ります。

ご注意

曲の種類によっては、音割れが発生する場合がありますので、効果を落とすか機能をOFFにしてください。また、曲によっては効果が出にくいものもあります。

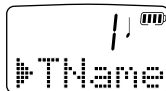
表示パネルの表示を切り替える(DISPLAY/ディスプレイ)

再生中に表示パネルで曲名や残り時間などの情報を確認できます。

- 1 **MODE (モードボタン)**を押して
[DISP]を表示させる



- 2 ジョグスイッチを上または下へ動かして
「▶TName」、「▶AName」、「▶ Rem」、
「▶ Bit」、「▶ Norm」から選ぶ
選んだモードが表示されます。



「TName」を選択した場合

表示の内容	モード表示
プレイ中の曲名を表示	▶TName (トラックネーム)
プレイ中のアルバム名を表示	▶AName (アルバムネーム)
プレイ中の曲の残り時間を表示	▶ Rem (リメイン)
プレイ中の曲のビットレートを表示	▶ Bit (ビットレート)
通常(プレイ時間)の表示	▶ Norm (ノーマル)

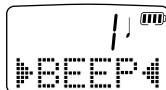
3 設定の確定

しばらく操作をしない状態でいると、変更した設定が確定され通常画面に戻ります。

ビープ音の切り替え(BEEP/ビープ)

モード設定時等に出るビープ音のON/OFFの設定ができます。

- 1 MODE (モードボタン) を押して
[BEEP]を表示させる



- 2 ジョグスイッチを上または下へ動か
して「ON」、「OFF」のいずれかを選ぶ

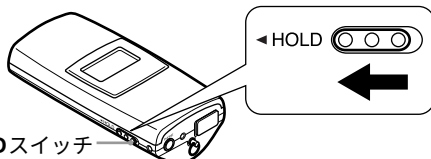


3 設定の確定

しばらく操作をしない状態でいると、変更した設定が確定され通常画面に戻ります。

誤動作を防ぐ(ホールド機能)

カバンやポケットに入れて使うときなどに、誤ってボタンが押されて再生が中断したりする
ことを防ぎます。



HOLDスイッチ

HOLD(ホールドスイッチ)を矢印の方向へスライドします

誤って操作ボタンが押されても操作を受け付けません。
ホールド中に操作ボタンを押すと「HOLD」と表示します。

ホールドを解除するには

HOLD(ホールドスイッチ)を逆方向へスライドします。

Liquid Playerウィンドウの各部のなまえ

くわしくは、オンラインヘルプをご覧ください。



- ① メニューバー
- ② 各機能への切替ボタン
- ③ 最新楽曲情報
(インターネットに接続できる環境のみで動作します。)
- ④ 再生操作ボタン
- ⑤ 音量調節

補足

表示メニューの[従来の表示形式]を選ぶと、従来の画面に切りかえることができます。

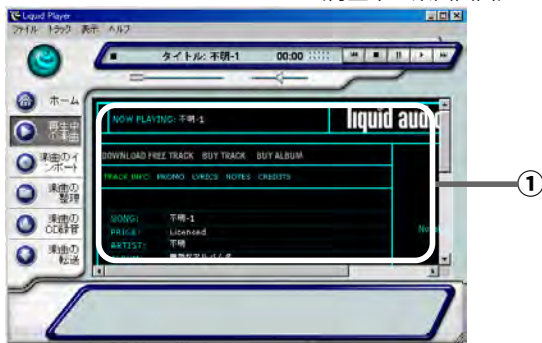
元に戻すには、[トラック]メニューの[Music Organizer]を選びます。
また、キーボードの「F6」キーを押すことにより、交互に切りかわります。



[従来の表示形式画面]

「Liquid Player」ウィンドウの左のボタンをクリックするか、[表示]メニューの[ナビゲーション]から[再生中の楽曲]、[楽曲のインポート]、[楽曲の整理]、[楽曲のCD録音]、[楽曲の転送]画面が表示されます。

〈再生中の楽曲画面〉



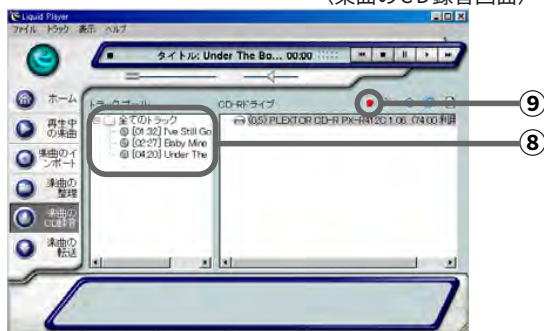
〈楽曲のインポート画面〉



〈楽曲の整理画面〉



〈楽曲のCD録音画面〉



〈楽曲の転送画面〉



① 再生中の楽曲の情報 ウィンドウ

再生中の楽曲の情報を表示します。インターネットからダウンロードした楽曲に含まれる情報やCDDDBから入手した情報を表示します。

② インポート ボタン(32ページ)

CDから選択した曲をインポートします。

③ アルバムリスト 表示(32ページ)

音楽のアルバム名やタイトル名などを入力・表示します。

④ CD情報 ボタン(32ページ)

CDDDBに接続して、CDの情報を入手します。

⑤ ウィザード ボタン(28ページ)

CDインポートウィザードが起動し、設定がおこなえます。

⑥ トラックプール 表示(33ページ)

インポートした曲のリストを表示します。



再生可能

CD録音可能

転送可能

⑦ 削除 ボタン(34ページ)

選択した曲を削除します。

⑧ トラックリスト 表示(33ページ)

Liquid Player内の音楽リストを表示します。

⑨ 実行 ボタン(CD-R書き込み)

(35ページ)

⑩ 実行 ボタン(転送)(33ページ)

楽曲の追加、削除、書き込み等を実行します。

⑪ プレイリスト 表示

曲順変更(▲、▼)タイトル名変更、トラック削除がおこなえます。

Windowsのエクスプローラでの表示について

USB接続ケーブルでデジタルメモリプレーヤーをパソコンに接続すると、Windowsのエクスプローラのリムーバブルディスクとして、マルチメディアカードに記録されたデータを表示することができます。

「Liquid Player」から転送したデータは、「Spt」というフォルダにまとまっています。Sptフォルダはエクスプローラ上で編集しないでください。

「Sptフォルダ」以外のデータについて

本機以外でのマルチメディアカード対応機器で記録したデータ(JPEG、MPEGなど)が入っている場合は、それらもエクスプローラで表示できます。ただし、本機を使ってエクスプローラで表示したデータの転送やコピーをした場合の動作は保証いたしません。

Sptフォルダ以外のデータの取扱いについては、それぞれを記録した機器の取扱説明書をご覧ください。

マルチメディアカードの空き容量表示について

USB接続ケーブルでデジタルメモリプレーヤーをパソコンに接続した状態で、[楽曲の転送]画面のメディア内容の下にマルチメディアカードの空き容量が表示されます。



マルチメディアカードのフォーマット(初期化)について

デジタルメモリプレーヤーをパソコンに接続して、他のメディアと同様にWindowsのエクスプローラの初期化の機能を使って、マルチメディアカードをフォーマットすることができます。フォーマットすると、マルチメディアカードに記録されたデータはすべて消去されます。

フォーマットする前に、内容をよく確認してください。

市販のマルチメディアカードはお買い上げ時にすでにフォーマットされていますので、再度フォーマットをする必要はありません。付属のマルチメディアカード(64MB)についても同様です。

ご注意

- マルチメディアカード内に本機で記録したデータ以外のデータが入っている場合は、そのデータも消去されます。
- Windows 2000をお使いの場合、マルチメディアカードのフォーマットは[ファイルシステム]で[FAT]を選択してください。[FAT]以外でフォーマットしますと、デジタルメモリプレーヤーで使用できなくなります。

ソフトウェアをアンインストール(削除)する

「Liquid Player」を削除したい場合は、以下の手順でアンインストールします。

[コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]から、[Liquid Player]を削除します。

Windows Media™ Player 7との組み合わせ

Microsoft Windows Media™ Player 7をインストールしていれば、WMAファイルをデジタルメモリプレーヤーに転送して聞くことができます。

Windows Millenium EditionとWindows 2000 Professional Editionのみ使用可能となります。

操作の方法について詳しくは、Windows Media™ Player 7のオンラインヘルプをご覧ください。

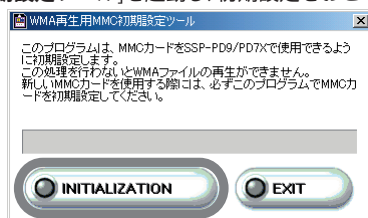
Windows Media™ Player 7のWMA形式の音楽ファイルを聞くには

- Windows Media™ Player 7の入手方法の詳細は

<http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/>をご覧ください。

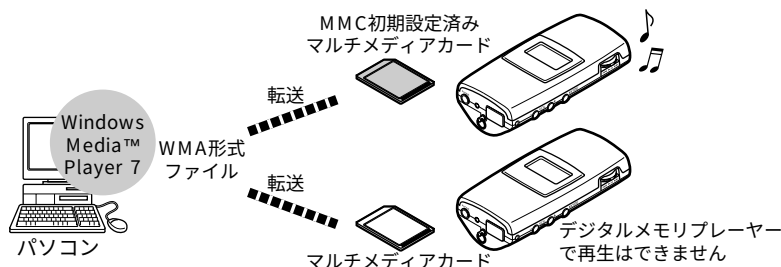
Windows Media™ Player 7をインストールする前に[Tool & Driver]でUSBドライバとWMA再生用MMC初期設定ツールをインストールしておいてください。
ソフトウェアのインストールについては21～22ページ「デジタルメモリプレーヤー対応ソフトのインストール」をご覧ください。

WMA形式の音楽ファイルを新しいMMCカードを入れたデジタルメモリプレーヤーで再生するには、**[WMA再生用MMC初期設定ツール]**でMMCカードを初期化する必要があります。
[WMA再生用MMC初期設定ツール]を起動し、初期設定をおこなってください。



ご注意

[WMA再生用MMC初期設定ツール]は[USB充電ツール]が立ち上がっていると動作しません。
[USB充電ツール]を終了してから初期設定をおこなってください。



WMAファイルをデジタルメモリプレーヤーに転送する

デジタルメモリプレーヤーで再生できるファイル形式はWindows Media™ Player 7で「ポータブルデバイスにコピーできるファイルの種類」のうち32～160kbpsファイルのみとなります。

ご注意

- Windows Media™ Player 7を使ってCDの楽曲を録音する場合、「CDオーディオオプション設定」での[個人用の著作権管理を有効にする]にチェックを入れないと、デジタルメモリプレーヤーに楽曲を転送後、再生することができません。
「CDオーディオオプション設定」:[ツール(T)]-[オプション]-[CDオーディオ]と選択
- EMDで購入した楽曲など、著作権管理情報の入っていない音楽コンテンツはデジタルメモリプレーヤーに転送後、再生することができません。
- EMDで購入した楽曲で、デジタルメモリプレーヤーに転送許可されていないことがあります。楽曲購入時には転送許可があることを楽曲配信サイトにて確認してください。

1 Windows Media™ Player 7を起動し、[ポータブルデバイス]タブをクリックする



2 デジタルメモリプレーヤーをパソコンに接続する(26ページ参照)

デジタルメモリプレーヤーがパソコンに認識され、マルチメディアカード内の楽曲がWindows Media™ Player 7の[ポータブルデバイス]側の画面に表示されます。認識されない場合は、F5キーを押してください。

3 デジタルメモリプレーヤーに転送する

デジタルメモリプレーヤーに転送したいWMAファイルを選択します。
Windows Media™ Player 7画面の[音楽のコピー]ボタンをクリックします。
コピーが始まり[デバイス上の音楽]に曲が追加されます。

ご注意

- Liquid Playerを使って転送した曲はWindows Media™ Player 7では表示されません。
- また、Windows Media™ Player 7を使って転送した曲はLiquid Playerでは表示されません。
- WMAファイルの仕様および著作権管理方式が変更になった場合には、デジタルメモリプレーヤーにてWMAファイルが再生できなくなる場合があります。この場合には、ソフトウェア等のアップグレードにて対応させていただく予定(有償)です。
また、変更内容によっては対応できない場合があります。あらかじめご了承ください。

取扱いと保管について

ご注意

充電について

- 充電時間は充電式電池の使用状態により異なります。
- はじめて充電するときや、長時間使用しなかった後では、充電しても通常の使用時間より短いことがあります。何回か放電を繰り返すと通常の状態に戻ります。
- 充電式電池は使いきってください。途中充電(充電式電池がまだ十分に使える状態での充電)しますと、メモリー効果により充電が満充電にならず、劣化状態と同じ症状になります。
- 電池の容量が少ないのに充電が終了してしまう場合、充電電池の寿命が考えられます。

置き場所について

次のような場所には置かないでください。

- 直射日光の当たる場所や暖房機器の近く
- 窓を閉めきった自動車内(特に夏季)
- 風呂場など、湿気が多いところ
- ほこりが多いところ
- 磁石、スピーカーボックス、テレビなど磁気を帯びたものの近く

温度上昇について

本機を充電中または、長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

マルチメディアカードの取扱いについて

- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。

- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
 - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
 - 直射日光の当たる場所
 - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

万一故障した場合は、内部を開けずに、お買い上げ店または修理相談窓口にご相談ください。(マルチメディアカードが本体に入っているときに故障した場合は、故障原因の早期解決のため、マルチメディアカードを入れたままご相談されることをおすすめします。)

お手入れ

本体のお手入れについて

柔らかい布で拭いてください。汚れがひどいときは、柔らかい布でからぶきをしてください。

- ベンジンやアルコール、シンナーなどで拭いたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

マルチメディアカードのお手入れについて

表面についたほこりやゴミを乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

ヘッドホンプラグのお手入れについて

ヘッドホンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因となることがあります。常に良い音でお聞きいただくために、ヘッドホンおよびヘッドホン延長コードのプラグ部をときどき柔らかい布でからぶきしてください。

よくある質問

販売店にご相談になる前に下表でお確かめください。直らない場合はお買い上げの販売店へご相談ください。

パソコンとの接続については、付属ソフトウェアのオンラインヘルプの「トラブルシューティング」もご覧ください。

こんなときは

再生について

どうして？	ココを確かめてみましょう
LCD表示がでない	電池が装着されていますか？ →電池を装着してください。 電池残量が少なくありませんか？ →充電電池を充電するか電池を交換してください。(23ページ) 電池の極性が逆ではありませんか？ →電池を正しく装着してください。
時間表示はするが再生音がでない	音量がゼロになっていませんか？ →音量を上げてください。(38ページ)
「No Card」表示をして再生音がでない	マルチメディアカードが装着されていますか？ →楽曲の入ったマルチメディアカードを装着してください。 マルチメディアカードが正しく装着されていますか？ →マルチメディアカードをロックがかかるまで挿入してください。 Windows 2000にて[FAT]以外でマルチメディアカードをフォーマットしていませんか？ →[FAT]にてフォーマットしてください。
「Can't Play」表示をして再生音がでない	再生するデジタルメモリプレーヤーで転送した楽曲ですか？ →楽曲を再生しているデジタルメモリプレーヤーでマルチメディアカードに転送してください。(33ページ) 電池残量が少なくありませんか？ →充電電池を充電するか乾電池を交換してください。 著作権管理が有効になっていないWMAファイルを再生していませんか？ →著作権管理が有効になっていないWMAファイルは再生できません。
「No Data」表示をして再生音がでない	マルチメディアカードのフォルダーに音楽データが入っていますか？ →音楽データを指定(Spt)フォルダーから移動させないでください。(46ページ) →音楽データをLiquid Playerで転送してください。
「No WMA software」表示をして再生音がでない	マルチメディアカードにソフトウェアを書き込んでいますか？ →WMAファイル形式の音楽を再生するにはWMA再生用MMC初期設定ツールにてマルチメディアカードにソフトウェアを書き込んでください。(48ページ)
右チャンネルから音がでない	ヘッドホンが正しく差し込まれていますか？ →ヘッドホンプラグを奥まで差し込んでください。
再生していたら急に音が止まった	電池残量が少なくありませんか？ →充電電池を充電するか電池を交換してください。(23ページ)

充電について

どうして？	ココを確かめてみましょう
電池の持続時間が短い	0°C以下の環境で使用していませんか？ →電池の特性によるもので故障ではありません。 電池の寿命が考えられませんか？ →50ページをご覧ください。

パソコンとの接続について

どうして？	ココを確かめてみましょう
専用USB接続ケーブルでパソコンにつないでも、本機の表示パネルに「  PC  」と表示されない	パソコンが正常に動作していますか？ →パソコンを再起動してください。 パソコン側のUSBコネクタが抜けていませんか？ →USBコネクタを差し直してください。
「楽曲の転送」画面でデバイス(使用可能機器)の表示がでない	
パソコンに接続したときに、デジタルメモリプレーヤーがパソコンに認識されない	マルチメディアカードは入っていますか？ →マルチメディアカードを入れてください。 デバイスは表示されていますか？ →Liquid Playerを再起動してください。
転送できる曲数が少ない	マルチメディアカードに音楽以外のデータが入っていませんか？ →マルチメディアカード内に音楽以外のデータが入っている分、転送できる曲数は減ります。音楽以外のデータをパソコンに移動するなどして、使用できるデータの容量を増やしてください。
接続中の動作が不安定	USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使用していませんか？ →動作の保証はできません。付属の専用USBケーブルのみで直接パソコンと接続してください。
CD リッピングが失敗する	お持ちのパソコンに CD 抽出機能がついていますか？ →音楽の CD デジタルデータ抽出機能がないと、お使いになれません。
MP3 ファイルが転送できない	MP3 ファイルによりデジタルメモリプレーヤーで扱うことができない場合があります。条件は54ページの“MP3は可変ビットレートのファイルでも聞けますか？”の項目を参照ください。

その他

どうして？	ココを確かめてみましょう
ボタン操作を受け付けない	HOLD(ホールドスイッチ)状態になっていませんか？ →「HOLD」を解除してください。(42ページ) 電池が消耗していませんか？ →充電するか電池を交換してください。(23ページ)
マルチメディアカードが挿入できない	表裏を逆にして挿入していませんか？ →正しい方向に押し込んでロックしてください。(26、37ページ)

楽曲のインポートをしたトラックを再生したとき、ノイズが出る	Liquid Playerが正しく設定できていますか？ → Liquid Playerの設定によっては、楽曲のインポートをしたトラックを再生したときノイズが乗ることがあります。 「ファイル」→「初期設定」→「楽曲のインポート」→「CD インポート」→「CD リッピング」の設定を「Maximum」から下げて、再度インポートしてください。
-------------------------------	---

上記の操作をしても正常に動作しないときは、電池を抜いた後しばらくたってから再度電池を入れて動作を確認してください。

その他のよくある質問

これはどうなる？	こうなります
パソコンを買い替えたり、故障した場合、それまでに入手していた音楽データはどうなりますか？	→ Liquid Player で入手した音楽 CD のデータや、音楽配信サービスから入手した音楽データは、パソコン1台1台についているID 番号を使用してセキュリティをかけているので、再度入手しな する必要があります。
SD カードは利用できますか？	→ SDカードは、マルチメディアカードと仕様異なりますので、使用できません。
オーディオボードなどの音声入力からの録音(記録)はできますか？	→ Liquid Playerには、音声入力からの録音機能はありません。音声入力からの録音は、市販のパソコンソフトなどをお使いになり、MP3ファイル形式にしたものを入手してください。
MP3 は可変ビットレートのファイルでも聞くことができますか？	→ Liquid Playerで再生はできますが、デジタルメモリプレーヤーで聞く場合には制限があります。 デジタルメモリプレーヤーで再生できるビットレートの範囲は192kbps以下です。可変ビットレートの場合は、平均ビットレートが192kbps以下であっても、先頭のフレームヘッダに書かれているビットレート値が192kbpsを超えると、Liquid Playerからデジタルメモリプレーヤーへの転送ができません。 ＜参考＞ビットレートが固定の場合は、192kbps以下であれば聞くことができます。
他のエンコーダソフトで AAC にエンコードしたファイルは再生できますか？	→ 再生できません。デジタルメモリプレーヤーのAAC対応とは、Liquid Playerの[楽曲のインポート]で音楽データのファイルをAAC形式にエンコードし、デジタルメモリプレーヤーに転送する場合のみ有効です。
WAV ファイルからインポートはできますか？	→ Liquid PlayerではWAV ファイルをそのまま、デジタルメモリプレーヤーに転送することはできません。市販ソフトでWAV ファイルをMP3 ファイルに変換したものを入手してください。
Liquid Playerでプログラムエラーが発生した場合は？	→ 他の起動中のソフトウェアを終了させて、パソコンを再起動させてからLiquid Playerを立ち上げてください。
Liquid PlayerではCDドライブにCDを挿入したときの動作を設定できますか？	→ 「楽曲のインポート」の「ウィザード」－「ステップ5Audio エンコード」において、画面下に3つの設定を選択するようになっていますが、いずれを選択しても[何もしない]となります。

用語解説

エスピースリー

SP3(Secure Portable Player Platform)

Liquid Audio社により開発された、デジタル音楽配信の不正コピー防止機能をポータブルプレーヤーで実現するための技術。マルチメディアカードに記録するデータの暗号化と、デジタルメモリープレーヤーの相互認証の2つの技術により著作権を保護する技術。

エスディーエムアイ

SDMI (Secure Digital Music Initiative)

デジタル音楽の流通を不法コピーから守る技術仕様を取りまとめるために、1999年2月に発足した団体でRIAA(米国レコード協会)が提唱して、コンテンツホルダーを始め、ハード、ソフト、システム関連会社を含め、200社以上が参加しています。既に、再生ポータブルプレーヤーに関する技術仕様を定めた「SDMI Portable Device Specification Part1 Version 1.0」を公表しています。現在は、音楽配信も含めたトータルのセキュリティを守るための技術仕様として、「SDMI Part2」を検討中です。

イーエムディー

EMD(インターネット音楽配信)サービス

「Electronic Music Distribution」の略で、インターネットやデジタルCS放送、CATVなどのデジタルネットワークによる「電子音楽配信サービス」
音楽データそのものをインターネットを通じて配信されるSDMIに対応した音楽データを購入、お手持ちのパソコンなどに取り込んで楽しむ新しいシステムです。

エルキューティー

LQT

リキッドトラック形式。リキッドオーディオ社が開発したファイル形式で、不正コピー防止のための暗号化がかけられています。リキッドオーディオ方式の音楽配信データ、Liquid PlayerのCDインポートされたファイルがこの形式です。

エムピースリー

MP3

ISO(国際標準化機構)のワーキンググループであるMPEGが1992年に制定した音声情報圧縮の国際規格「MPEG-1 Audio Layer 3(IEC標準1172-3)」です。この圧縮方式では、1/10～1/12の圧縮率を得ることができます。

ビットレート

1秒あたりの、情報量を表す数字のことで、単位はbps(bit per second)、読みかたは「ビーピーエス」です。Liquid Playerでは、音楽CDをインポートする際のビットレートを128kbps/96kbps/78kbps/64kbpsから選ぶことができます。

エーエーシー

AAC

ISO(国際標準化機構)のワーキンググループであるMPEGが1997年に制定した音声情報圧縮の国際規格「MPEG-2 Advanced Audio Coding(ISO/IEC標準13818-7)」です。圧縮率、音質ともMP3同等以上の性能があります。BSデジタル放送の音楽圧縮技術として採用されています。

ダブリュエムエー

WMA(Windows Media Audio)

マイクロソフト社が開発したファイル形式で、本機ではWindows Media™ Player 7からWMAファイルを転送して再生することができます。

著作権保護による制限事項

SP3での著作権保護による制限事項

本製品は、音楽コンテンツの著作権保護の仕組みとして、Liquid Audio社の開発した著作権保護技術「SP3」を採用しております。本製品と付属ソフトウェアLiquid Playerには、SDMIの取り決めに従って音楽著作権を保護するための暗号技術を利用したシステムが組み込まれています。ご使用いただくには以下のような制限があることをご理解ください。

1. 付属ソフトウェアLiquid Playerを用いてパソコンのハードディスクに入れた音楽は、他のパソコンでは再生できない場合があります。簡易パスポートでの登録の場合、他のパソコンでは再生できません。標準パスポートでの登録の場合、他のパソコンに音楽データとパスポートをコピーすることによって、他のパソコンでの再生がおこなえます。
2. 付属ソフトウェアLiquid Playerを用いてパソコンのハードディスクに入れた音楽は、他のパソコンにてデジタルメモリプレーヤーへの転送はできません。
3. 本製品にパソコンから転送した音楽は、本製品以外の機器にて再生できません。
4. 本製品にパソコンから転送した音楽は、パソコンに戻してパソコン上で再生できません。
5. 音楽配信からの音楽データの利用方法に関しては、著作権者およびサービス事業者の意向に則った処理をおこないます。
6. 音楽CDでの利用条件は、SDMIの基本ルールに従っておこないます。この場合には、ひとつの音楽データの転送はデジタルメモリプレーヤー3台までとなります。
7. 付属ソフトウェアLiquid Playerのバージョンアップについて
付属ソフトウェアLiquid PlayerはSDMIの取り決めに従い作られています。将来この取り決めが変わった場合には、本ソフトウェアの一部機能は使えなくなる可能性があります。その場合には、本ソフトウェアのバージョンアップにて対応させていただく予定です。なお、バージョンアップは有償とさせていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

主な仕様

録音時間(付属の 64MB マルチメディアカード使用時)

- ：約 60 分(AAC-128kbps ステレオ 高音質レベル)
- 約 84 分(AAC-96kbps ステレオ CD 並み音質レベル)
- 約 104 分(AAC-78kbps ステレオ 標準音質レベル)
- 約 120 分(AAC-64kbps ステレオ FM 音質レベル)

サンプリング周波数特性：44.1kHz

再生信号圧縮方式：マルチデコード方式(AAC、MP3、WMA)

周波数特性：20～20,000Hz(単信号測定)

出力端子：ヘッドホン 3.5 φ(ステレオミニジャック)

S/N 比：80dB 以上(JIS-A)

動作温度：－5℃～＋40℃

定格出力：5mW＋5mW(16 Ω 負荷時、EIAJ/DC)

電源：単 4 形電池×1 本(アルカリまたはニッケル水素充電電池)

電池持続時間：アルカリ乾電池 約 7.5 時間
ニッケル水素充電電池 約 5.5 時間(USB 充電 約 5 時間)

最大外形寸法：幅 38.6×高さ 83.5×奥行き 24.8mm (突起部を含まず)

質量：約 58g (充電電池、マルチメディアカード含む)

付属品：64MB マルチメディアカード (1)
単 4 ニッケル水素充電電池 (1)
単 4 アルカリ乾電池 (1)
ヘッドホン (1)
ヘッドホン延長ケーブル (1)
専用 USB 接続ケーブル (1)
CD-ROM (1)
キャリングポーチ (1)
ストラップ (1)
取扱説明書(保証書付) (1)
ユーザー登録カード (1)

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

※ 包装箱の品番の末尾のアルファベット文字は色表示の記号です。

色は異なっても操作方法と仕様は同じです。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この商品には保証書がついています。お買い上げの際、販売店が発行します。
- 所定事項の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より**1年間**です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店か、お近くの「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の規定に従い、お買い上げの販売店が修理させていただきます。製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間経過後の修理は

修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間について

ポータブルデジタルメモリプレーヤーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間です。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

お客さまご相談窓口

- インターネットによる「FAQ」でお問い合わせの多い事例を紹介しています。
URL: <http://www.music.sanyo.co.jp/> → 名称は「MUSIC SANYO」です。
この中に「FAQ」を掲載しています。
- ファックスやメールによるご相談
FAX: **072-870-6070**
e-mail: info_STS@dt.sanyo.co.jp

お使いになってご不明な点、技術的なご質問などをお問い合わせください。

受付時間: 月曜日～金曜日 午前 9:30～午前 11:55
午後 1:30～午後 5:00 まで

(土、日、祝日および当社の休日を除く)

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名: SSP-PD9
- ご相談内容: できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日
- シリアルNo.: 本体裏(電池カバー)に貼り付けています
- ご使用のパソコン環境: パソコンの機種名/OS/メモリー容量/ハードディスクなどの容量

修理相談窓口 (修理サービスについてのご相談にお問い合わせください)

受付時間 月曜日～金曜日(祝日および当社の休日を除く)
9:00～12:00、13:00～17:00

北海道地区

三洋電機サービス(株) 北海道支店 ☎ (011)831-9200 〒003-0013 札幌市白石区中央3条4-1-36

[北海道]	札幌	(011) 831-9201	〒003-0013 札幌市白石区中央3条4-1-36
	函館	(0138) 22-6745	〒040-0036 函館市東雲町2-4
	苫小牧	(0144) 33-3421	〒053-0042 苫小牧市三光町2-2-5
	旭川	(0166) 22-2421	〒070-0073 旭川市曙北3条7-4
	北見	(0157) 23-4871	〒090-0037 北見市山下町4-7-14
	釧路	(0154) 22-1576	〒085-0021 釧路市浪花町7-7
	帯広	(0155) 24-4973	〒080-0016 帯広市西六条南5-3-8

東北地区

三洋電機サービス(株) 東北支店 ☎ (022)382-5616 〒981-1225 宮城県名取市飯野坂3-4-8

[青森県]	青森	(017) 729-3401	〒030-0141 青森市大字上野字山辺29-5
	八戸	(0178) 28-9225	〒039-1103 八戸市長苗代字観音堂50-5
[秋田県]	秋田	(018) 862-6551	〒010-0925 秋田市旭南3-2-67
[岩手県]	盛岡	(019) 635-0136	〒020-0863 盛岡市南仙北1-13-6
[山形県]	山形	(023) 641-1769	〒990-2432 山形市荒楯町1-21-30
[宮城県]	仙台	(022) 384-0444	〒981-1225 名取市飯野坂3-4-8
[福島県]	郡山	(024) 945-6793	〒963-0111 郡山市安積町荒井字戸蘭塔1-7

関 東 地 区

三洋電機サービス(株) 関東支店 ☎ (048)443-9111 〒335-0026 埼玉県戸田市新曽南3-16-3

[東京都]	城 北	(03)3958-1261	〒173-0021 板橋区弥生町72-5
	江 東	(03)3685-8166	〒136-0071 江東区亀戸1-8-6
	城 東	(03)3607-3191	〒125-0051 葛飾区新宿4-10-15
	城 西	(03)3421-5171	〒154-0003 世田谷区沢野3-5-3
	城 南	(03)3376-3361	〒151-0073 渋谷区笹塚3-1-13
[山梨県]	府 中	(042)364-7721	〒183-0045 府中市美好町2-3-1
	甲 府	(055)226-2561	〒400-0035 甲府市飯田4-9-14
[神奈川県]	横 浜	(045)939-0281	〒224-0054 横浜市中区佐江戸町788 富士商工第二ビル
	横 須 賀	(0468)65-8362	〒237-0062 横須賀市浦郷町 5-2931-22
	平 塚	(0463)55-3926	〒254-0014 平塚市四之宮842
	相 模 原	(042)742-2272	〒228-0805 相模原市豊町17-11
	大 宮	(048)664-2319	〒330-0038 大宮市宮原町1-30
[埼玉県]	狭 山	(042)952-8151	〒350-1334 狭山市狭山42-12
	熊 谷	(048)532-4555	〒360-0831 熊谷市大字久保島961-5
[千葉県]	千 葉	(043)241-7311	〒260-0025 千葉市中央区間屋町5-20
	鎌 ヶ 谷	(047)441-0111	〒273-0105 鎌ヶ谷市鎌ヶ谷7-6-59
	宇 都 宮	(028)653-2811	〒321-0106 宇都宮市上横田町1302-12
[群馬県]	太 田	(0276)46-3821	〒373-0852 太田市新井町211-2
	高 崎	(027)362-1151	〒370-0001 高崎市中尾町池の内441
[茨城県]	水 戸	(029)251-4125	〒311-4152 水戸市河和田3-2386-1
	つ く ば	(0298)64-4751	〒300-3261 つくば市花畑2-15-3

中 部 ・ 北 陸 地 区

三洋電機サービス(株) 中部支店 ☎ (0586)71-6960 〒491-0032 愛知県一宮市下沼町 3-21-1

[新潟県]	新 潟	(025)285-2431	〒950-0971 新潟市近江244
	長 岡	(0258)24-0705	〒940-0029 長岡市東蔵王2-3-46
	上 越	(0255)43-3535	〒942-0074 上越市石橋2-2-9
[石川県]	金 沢	(076)237-7811	〒920-0062 金沢市割出町627
	富 山	(076)422-7020	〒939-8211 富山市二口町1-13-8
[福井県]	福 井	(0776)22-6082	〒918-8231 福井市問屋町1-17
[愛知県]	名 古 屋	(052)451-3161	〒453-0804 名古屋市中村区黄金通5-10
	岡 崎	(0564)23-3418	〒444-0065 岡崎市柿田町1-2
	一 宮	(0586)71-4181	〒491-0032 一宮市下沼町3-21-1
[静岡県]	静 岡	(054)261-4151	〒420-0813 静岡市長沼885
	沼 津	(0559)63-1000	〒410-0861 沼津市真砂町3-1
	浜 松	(053)461-8685	〒435-0016 浜松市和田町795-2
[長野県]	松 本	(0263)26-1107	〒390-0835 松本市高宮東1-35
	長 野	(026)299-9501	〒388-8006 長野市篠ノ井御幣川字東松島1000-2
[岐阜県]	岐 阜	(058)246-3417	〒501-6006 羽島郡岐南町伏屋1-35
[三重県]	津	(059)228-8126	〒514-0838 津市岩田町10-3
	三 重	(0593)51-2128	〒510-0081 四日市市北町3-8

近 畿 ・ 四 国 地 区

三洋電機サービス(株) 近畿支店 ☎ (06)6993-2251 〒570-0086 大阪府守口市竹町4-13

[大阪府]	大 阪	(06)6992-6235	〒570-0086 守口市竹町4-13
	大 阪 南	(06)6631-4001	〒556-0015 大阪市浪速区敷津西2-10-9
	大 阪 東	(072)872-6502	〒574-8534 大東市三洋町1-1 306号棟
	阪 和	(0722)21-8571	〒590-0959 堺市大町西3-1-16
[奈良県]	奈 良	(0744)22-7888	〒634-0837 橿原市曲川町7-1-31
[和歌山県]	和 歌 山	(073)436-3110	〒641-0006 和歌山市中島369
[兵庫県]	神 戸	(078)651-3951	〒652-0897 神戸市兵庫区駅南通2-1-11
	阪 神	(06)6419-4081	〒660-0053 尼崎市南七松町2-4-25
	姫 路	(0792)96-2141	〒670-0981 姫路市西庄字八町108
	洲 本	(0799)22-2702	〒656-0101 洲本市納字横竹308-1
[京都府]	京 都	(075)672-0877	〒601-8102 京都市南区上鳥羽菅田町41
	福 知 山	(0773)27-3458	〒620-0856 福知山市土師宮町1-66
[滋賀県]	大 津	(077)545-4221	〒520-2134 大津市瀬田1-1-5
[香川県]	四 国	(087)843-1840	〒761-0104 高松市高松町2175-10
[愛媛県]	松 山	(089)971-3342	〒791-8036 松山市高岡町148-1
[高知県]	高 知	(088)860-0229	〒781-5106 高知市介良乙1044
[徳島県]	徳 島	(088)699-4131	〒771-0219 板野郡松茂町笹木野字八北開拓 150-2

中 国 地 区

三洋電機サービス(株) 中国支店 ☎ (082)293-6511 〒733-0012 広島市西区中広町3-17-5

[広島県]	広 島	(082)293-6511	〒733-0012 広島市西区中広町3-17-5
	福 山	(0849)25-3455	〒720-0077 福山市南本庄3-1-48
[岡山県]	岡 山	(086)245-1634	〒700-0973 岡山市下中野703-101
[山口県]	山 口	(083)973-3391	〒754-0024 吉敷郡小郡町若草町2-6
	徳 山	(0834)22-0668	〒745-0025 徳山市築港町 12-1
[鳥取県]	鳥 取	(0857)24-2930	〒680-0843 鳥取市南吉方3-107
[島根県]	松 江	(0852)23-1183	〒690-0017 松江市西津田4-1-14

九 州 地 区

三洋電機サービス(株) 九州支店 ☎ (092)924-3434 〒818-8534 福岡県筑紫野市紫6-1-1

[福岡県]	福 岡	(092)928-3414	〒818-8534 筑紫野市紫6-1-1
	北 九 州	(093)521-5286	〒802-0023 北九州市小倉北区下富野 2-10-28
	久 留 米	(0942)21-3534	〒830-0052 久留米市上津町字赤坂1890-2
[長崎県]	長 崎	(095)824-5628	〒850-0012 長崎市本河内町922
	佐 世 保	(0956)31-7635	〒857-1162 佐世保市卸本町17-1
[熊本県]	熊 本	(096)357-1122	〒861-4106 熊本市南高江3-2-88
[大分県]	大 分	(097)543-3454	〒870-0822 大分市大道町3-4-32
[宮崎県]	宮 崎	(0985)29-3441	〒880-0036 宮崎市花ヶ島町観音免883
[鹿児島県]	鹿 児 島	(099)251-4615	〒890-0068 鹿児島市東都元町11-10

沖 縄 地 区

沖縄サービスセンター ☎ (098)878-3411 〒901-2133 浦添市城間4-35-5 沖縄三洋販売(株) サービス部 (271100A)

●上記お客さまご相談窓口の名称、所在地、電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

無料修理規定

お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本書をご持参ご提示ください。

1. 保証期間でも次のような場合には有料修理となります。
 - イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - ロ. お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
 - 二. 取扱説明書に記載されている使用条件以外で使用した場合の故障または損傷。
 - ホ. 本書の提示がない場合。
 - ヘ. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ト. 消耗品の交換・仕様変更など。
2. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
 3. ご贈答品等で本書に記入の販売店に修理をご依頼になれない場合には、「お客様ご相談窓口」をご覧くださいのうえ、もよりの窓口にお問い合わせください。
 4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.
 5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

- 保証期間が経過した後の修理についての詳細は“保証とアフターサービス”の項をご覧ください。

索引

ア行

アンインストール	47
インストール	15
インポート	28～32
ウィンドウの名称	43～45
エクスプローラ	46
AAC	7、55
SDMI	7、55
SP3	7、55
MP3	7、55
LQT	55
音楽CD	7、31
音楽配信サービス(EMDサービス)	9、55
音質	40
オンラインヘルプ	13
音量	4、38

カ行

聞く	37
誤動作防止(ホールド機能)	42

サ行

再生	38、52
システム構成	12
充電	23、52
ジョグスイッチ	38
制限事項	8、56

タ行

ダウンロード	7、17、20
WMA	7、22、48、49、55
著作権	8、56
転送	8、33
電池(充電式)	23
残量表示	37

ハ行

ハードディスク	7、15
バージョンアップ	56
バスブースト(BASS)	40
パスポート	18
パソコン	53
早送り、早戻し	38
表示パネル	11
付属品	14
ビーブ(BEEP)	42
プリセットイコライザー(P-EQ)	41
ヘッドホン	37、51
延長コード	37
ホールド機能(誤動作防止)	42

マ行

マルチメディアカード	9、46、47
モード一覧	39

ヤ行

USBケーブル	23、26
USBドライバ	22
よくある質問	52

ラ行

リピート	40
------------	----

11/11/2019

[illegible]

製造元 三洋電機株式会社

三洋テクノ・サウンド株式会社 企画部 国内販売課

〒574-8534 大阪府大東市三洋町1番1号 電話 大東(072)870-4186(直通)